

プロフィール(基調講演)

デイビッド・ショート 米国運輸省 航空・国際担当次官補代理

2018年7月から運輸省 航空・国際担当次官補代理に就任し、航空および国際運輸部門に影響を及ぼす経済・競争政策を担当。ショート氏は、旅行・観光インフラ全国諮問委員会と人身売買諮問委員会を担当する指定連邦政府職員でもある。運輸省着任前は、ワシントン D.C.を拠点とする FedEx の貿易・国際問題担当シニア・カウンセルとして、FedEx がサービスを提供する世界中の 220 を超える国と地域の政府との関係、および 700 機近くの同社の航空機に影響を及ぼす様々な法律上および規制上の問題を担当。FedEx 在籍中、ショート氏は米国－イラクビジネス対話、および新しい「ロッテルダムルール」海洋賠償責任条約を作成した国連国際貿易法委員会 (UNCITRAL) への米国代表に任命され、米コロンビア・ビジネス・パートナーシップ会長、外交に関する執行理事会および国際理解のためのビジネス・カウンシルの会長を務めた。FedEx 在籍前は、スイスのジュネーブで IATA 法務部門のディレクターを務め、IATA 在籍前は、ウォール街の法律事務所航空法を担当。ショート氏は、コーネル大学を首席で卒業し、南カリフォルニア大学で法学の学位を取得し、法学誌の編集者を務めた。コロンビア特別区の弁護士。

